

令和6年度 富来田ふるさと講座 第9回実施報告

日時 令和7年2月20日 木曜日 13時30分から

会場 富来田公民館 2階会議室

講師紹介 袖ヶ浦市郷土博物館 顧問 稲木章宏氏

講演テーマ 木食観正について

【講座の内容】 木食観正とは

江戸時代の中期に、多くの僧侶が寺院から離れて民間信仰として仏教を広め、在家の民衆へと布教をした。木の実や草を食べながらも廻国修行した僧侶たちの一人です。

木食観正は、四国淡路島で生まれ、廻国行を始めて、小田原で加持祈禱をしたと記録があります。木更津から君津、富津、館山のお寺を訪れていた。木食観正の石仏や古文書、掛け軸が残されていて、それらの調査や報告内容を基に、民衆へ在家仏教を布教した観正の足跡と、石仏の特徴を学びました。

木更津市内では、桜井の光福寺・請西の長楽寺・曾根の釈蔵寺・真里谷の妙泉寺に石仏等があります。

【木食観正の研究調査を報告した方】

昭和 55 年 對島郁夫氏 著書 房総における木食僧の動向 千葉県内木食観正碑の集成
昭和 59 年 西海賢二氏 著書 近世遊行聖の研究 木食観正と房総 木食観正碑を集成
昭和 60 年 高崎繁雄氏 著書 木更津市の史跡を訪ねて 曾根釈蔵寺 碑と掛軸仏像内
平成 2年 川戸 彰氏 著書 木更津に存在する木食観正塔 桜井光福寺の碑を紹介
平成 23 年 稲木章宏氏 著書 西上総にみる木食観正とその周辺

【近隣市での石仏があるお寺】

君津市 鹿野山の神野寺、根本の大正寺、

富津市 富津の医光寺、本郷の本郷公会堂、

館山市 那古の大福寺、市原市 能満の釈蔵寺、

各お寺にある石碑と石塔を学んだ。

江戸時代の民間信仰には、伊勢講・富士講・出羽三山講・大山講・子安講などがあります 木食の修行では、他県において石仏以外に多くの仏像が残されていると説明がありました

【受講生からの感想】

石仏に興味を持つ内容でした。大変面白かった。地味な内容。

観正が数年にいた間に信じられない多数の信者がいた。

その教えはどんな仏教なのか知りたい。木食観正の人柄、宗教の内容も少し聞きたい。

どこの宗教も教えは同じなのかもしれない。木食観正の話を初めて知りました。

大変勉強になりました。宗教の衰退や簡素化する葬儀等で、信仰心の行く末が心配。

世界各地の戦争がなくなる宗教と関係があるのか。遊行や廻国僧を初めて聞いた。

近くのお寺石碑を訪ねてみたい。講師は説明内容を良くまとめられていた。

もっと詳しく聞きたいと思いました。色々な繋がりが何処かにあるような気持ちになりました。

【参加者人数】

男性 12名、 女性 5名、 合計 17名。